

段	分	学 習 活 動	形資	手だておよび留意点	評 価
課題把握	9	1 被服の役割を考える。	斉	人間は何のために服を着るのか発表させる。	被服の役割に気づいたか。 (発表) 学習課題がつかめたか。 (挙手)
	3	2 本時の学習課題をつかむ。	斉	生徒の発表をもとに課題を焦点化させる。	
布の成り立ちについて調べてみよう					
課題追求	13	4 現在使われているいろいろな糸を調べる。 ・ 毛糸 ・ 手縫い糸 ・ ミシン糸	ゲ	いろいろな糸をほどいてみて、どんな様子か調べさせ、プリントにまとめさせる。 ・ 糸をほどくと何本になったか ・ 元の糸と比較して引っ張りに対する強さを比較する	糸のようすを調べることができたか。 (机間指導・点検)
	6	5 3種類の糸の違いについて発表する。	斉	プリントにまとめたことを発表させる。	
	11	6 用意をした毛糸やひもを使い糸を布にしてみる。	個	各自の考えで布を作らせる。 ・ 糸を縦糸、横糸に組み合わせて布ができていることに気づかせる。 ・ 先人の知恵を実感させる。	
整理・発展	6	7 本時のまとめをする。	斉	布の作り方をプリントにまとめる。	布の作り方がわかったか (点検)
	2	8 次時の学習内容を知る。	斉	快適な日常着の条件について学習することを知らせる。	